金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

金沢大学

融合学域

R3 Ver.2

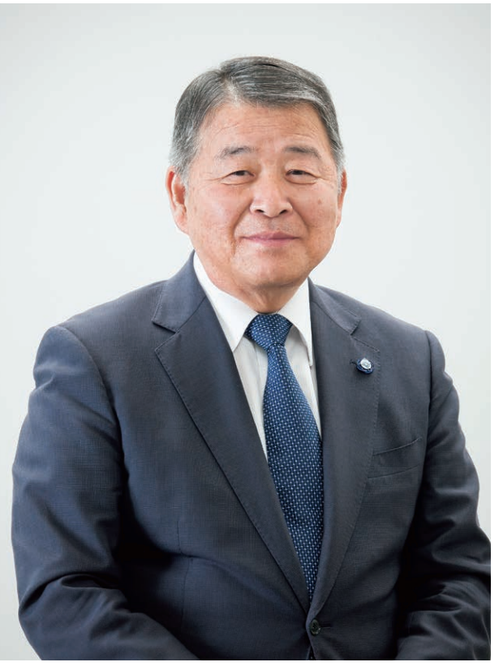
文理融合の知識を基に
イノベーションをリードする。

金沢大学長
山崎光悦

自分を変える、未来も変える

新しい知識との出会いが、
挑戦できるチャンスが、ここにある。
多角的に見渡せる視野を身に付け、
広く深い知識を翼に変えて、
目の前に広がる空へ飛び立とう。
空にはボーダーラインなんかない。
限界も可能性も、
自分で変えられる。
未来を想像するんじゃなく、
ここから創造しよう。

先導学類　　R３設置
観光デザイン学類（仮称）　R４設置申請中



金沢大学長　山崎 光悦

ご挨拶

現代は、規格化された製品の大量生産・大量消費が成長を支える工業中心社会から、新たな価値の創造や、より高度な情報・知識に基づく付加価値の高い製品・サービスの提供が成長を支える知識集約型社会へと転換しつつあります。さらに、コロナ禍が軌を一にして、すべてのモノをインターネットでつなぐIoT、そこから得られるビッグデータ、人工知能AIなどのICT技術の発展・普及を加速させ、社会のあらゆる分野においてかつてないほどの勢いで技術革新の波が押し寄せてきています。

世界を取り巻く環境が大きな変革期を迎えている今こそ、金沢大学は、大学憲章に謳う「21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に資する」ことを責務とし、その具体的なアクションとして令和３年４月に文理融合型の新たな学域「融合学域」を創設し、１番目の学類として先導学類を始動させました。令和４年４月には、新たに観光デザイン学類（仮称）の設置を申請しています。

グローバル化の進展に伴い複合的な社会課題が多くなればなるほど、高度な専門的知識の修得にとどまらず、問題の本質を見抜く力とともに、多様な背景を持つ人々との協働により課題を解決する意欲と実行力を育む学びを提供することが大学に求められています。我が国が直面する課題の克服、すなわち国際競争力の再興と地方創生には、創造力と突破力をもって未来を切り拓き、世の中を変革する尖った人材の存在が不可欠です。

融合学域では、現在・未来における課題の発見とその解決を目指し、「多分野にわたる文理融合の学びと連携・融合」および「アントレプレナーシップの醸成」を柱とする実践重視の学びにより、イノベーションの創成をリードする中核的リーダーを養成します。先導学類では、従来の常識や殻を破り、社会を変革し、新しい未来を切り拓く人材、観光デザイン学類（仮称）では、従来の観光学とは異なる新たな価値デザイン社会を創造する人材の輩出を目指します。地域そして世界を舞台に新風を吹き込む人材を送り届け、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」としての使命を果たしていきます。

ご挨拶

融合学域は、金沢大学の４番目の学域として令和３年４月に創設しました。発足は４番目ですが、学則上は１番目に記載しています。これは、この学域に賭ける山崎学長の意気込みの強さと金沢大学の期待の大きさを表しています。

この学域は、停滞した現在の日本社会を変革する志に基づいて、従来の学問領域に囚われない新しいイノベーションの創出を目的としています。併せて、広範な分野にわたる教養と文理融合の専門的知識を修め、課題発見・解決モデルを推進することで、地域と世界に貢献することを理念とし、知識基盤社会で中核的リーダーシップを発揮できるイノベーション人材の養成を目標としています。

この学域のキーワードは、文理融合（異分野融合）、イノベーション、アントレプレナー、デザイン思考、そして多様性です。

最近いくつかの国立大学で文理融合を目指す新しい学部が設置されています。文理融合など「机上の空論」であり、文理融合教育は、両分野の研究者を寄せ集めたに過ぎないという批判があることは確かです。こうした批判は、柔軟な考え方（創造的なマインドセット）を基本とするデザイン思考からは生まれません。われわれは、学内から自薦・他薦を問わず、異分野に挑戦することを厭わない多様な人材を選び抜き、学外からも有望な人材を集めて教員組織を創り、アントレプレナー教育をイノベーションの一手段として出発しました。

かつて Japan as Number Oneと言われた時代もありました。しかし、日本の国際的な地位は、最近20年で大幅に低下しており、新型コロナウイルス感染症を経験した世界では、日本経済の貧困化がさらに進み、日本は先進国の地位からも脱落してしまうという指摘があります。これは、1990年代後半からイノベーションが停滞し、優れた製品やサービスを生み出せなくなってしまったことが原因です。われわれは、この日本の現状を打破する教育・研究の展開を目指さねばなりません。

融合学域長・融合研究域長　大竹 茂樹

観光デザイン学類（仮称）は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

先導学類長・融合科学系長　尾島 恭子

学士課程の教育組織

融合学域　文理にとらわれない〈新学域・新学類〉として拡充

先導学類　［令和3(2021)年 設置］

観光デザイン学類（仮称）　令和4(2022)年 設置申請中

多様な分野やシステムについて
融合的・統合的に学修し、イノベーションを
リードする人材を育成

■学域イメージカラー「千草色」
- 千草（千種）は「様々な、種類の多い」など「多様であること」を意味する
- 染物の技術では重ね染めの下地色として使われた、つまり「土台」の色

人間社会学域
- 人文学類
- 法学類
- 経済学類
- 学校教育学類
- 地域創造学類
- 国際学類

理工学域
- 数物科学類
- 物質化学類
- 機械工学類
- フロンティア工学類
- 電子情報通信学類
- 地球社会基盤学類
- 生命理工学類

医薬保健学域
- 医学類［6年制］
- 薬学類［6年制］
- 医薬科学類
- 保健学類／５専攻

以上
4学域19学類

INDEX

ご挨拶 …… 1
学域紹介 …… 3
入試情報【先導学類】 …… 5
入試情報【観光デザイン学類（仮称）】 …… 6
入試情報【融合学域共通】 …… 7

先導学類
先導学類とは …… 9
3つの特長 …… 10
学修マップ …… 11
カリキュラム …… 12
学生インタビュー …… 13
入試結果 …… 15

観光デザイン学類（仮称）
観光デザイン学類（仮称）とは …… 17
3つの特長 …… 18
学修マップ …… 19
カリキュラム …… 20

融合学域専任教員（予定者を含む） …… 21
学生指導体制 …… 25
金沢ガイド …… 26
ACCESS …… 27

観光デザイン学類（仮称）は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

融合学域

College of Philosophy in Interdisciplinary Sciences

先導学類　令和3（2021）年4月 設置
観光デザイン学類（仮称）　令和4（2022）年4月 設置申請中

文理融合の知識を基に、イノベーションをリードする

「融合学域」は令和３（2021）年４月に誕生した新しい学域です。
「融合学域」は、広範な分野にわたる教養と文理融合の知見を醸成し、
課題発見・解決の知を展開することで、地域と世界に貢献することを理念とし、
知識集約型社会の中核的リーダーシップを発揮できるイノベーション人材の養成を目的としています。

令和３年度には先導学類へ初年度入学者を受け入れ、
令和４年度には、第２の学類、観光デザイン学類（仮称）の設置を申請中です。
さらに、令和５年度以降も、学域の拡充や接続する大学院の設置など、新たな展開を構想中です。

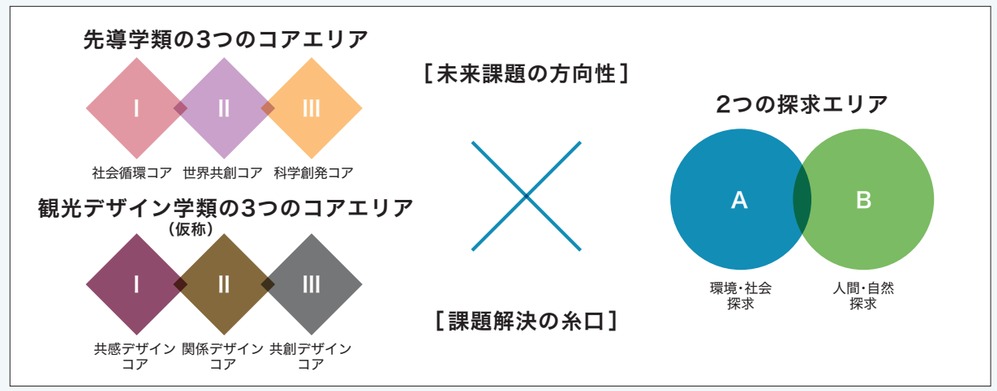
融合学域の特長

文理融合プログラムで多様かつ最新の専門知識を身に付ける

- 偏りのない文理融合プログラムのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学びます。
- ３つのコアエリアの科目を並行学修し、未来課題を幅広く学びながら自身の課題の方向性を決定します。
- オーダーメード型の履修指導に基づき、3つのコアエリアの配置科目と２つの探求エリアを往還的に学修しながら、自身の課題の方向性に沿って多様な分野を探求します。
- 学修を深めて必要性を感じたタイミングで、いつでも各エリアに戻って学修できる、「バックキャスティング学修」を導入しています。
- 社会実装を見据え、STEAM教育の実践により異分野融合教育モデルを構築・拡大していきます。

多様な条件下で最新の知見や他者との共創を学ぶ

- ３年次半ばから４年次には、身に付けた知見を連携・融合し、自身の設定した課題解決や多様なインターンシップ等による実証実験・社会実装プロジェクト等の立ち上げに挑戦できます。
- 鍛錬科目では、プロジェクト実践型演習を課し、ダイバーシティ環境や多様な条件下で最新の知見や他者との共創を学びます。
- 学生自らが企画・立案し、現実社会のシステムや制度、未来の課題を対象に自由な発想で教員や学外者と共にアプローチし、より実践的に学びます。
- 学修をさらに深めたい学生のために、新たな大学院の設置も構想しています。



観光デザイン学類（仮称）は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

令和3（2021）年4月 設置

先導学類

文理融合型教育とアントレプレナーシップ養成に重点を置き、社会変革を先導する人材を養成

人文科学・社会科学・自然科学の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、新たな「知」を社会へ展開する意欲と素養を身に付けた社会変革を先導する人材を養成します。

令和4（2022）年4月 設置申請中

観光デザイン学類（仮称）

我が国の観光産業を牽引し、新たな観光価値を創出することができる人材を養成

人文・社会科学的アプローチと科学・技術的アプローチの双方から観光資源の新たな価値を創造・デザインし、観光を国・地域の基幹産業へと発展させる人材を養成します。

観光デザイン学類（仮称）は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

令和４年度入学者選抜（一般選抜・前期日程）に係る実施教科・科目等（実施教科・科目・配点一覧表）

令和３年７月現在

学域	学類	入試区分	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等								
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	配点合計
融合学域	先導学類	文系傾斜	国語	国語　必須	国語	国語総合	共通テスト	100	100(50×2)		100	100	100		500
			地理歴史	世界史B 日本史B 地理B	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B から1科目	個別学力検査	200			200(選択)		400	200(選択)	800
			公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理, 政治・経済	その他	総合問題	計(数学選択)	300	100		300	100	500		1300
				『「地理歴史」から2科目』または,『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』(注1)	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	計(総合問題選択)	300	100		100	100	500	200	1300
			数学	数学Ⅰ・数学A　必須 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎 から1科目											
			理科	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 物理 化学 生物 地学 『「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目』または,『「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目』											
			外国語	英語(注2) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目											
		理系傾斜	国語	国語　必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	共通テスト	100	50(50×1)		100	100	100		450
			地理歴史	世界史B 日本史B 地理B	理科	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 から1科目	個別学力検査				400	250	200		850
			公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理, 政治・経済 から1科目	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	計	100	50		500	350	300		1300
			数学	数学Ⅰ・数学A　必須 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎 から1科目											
			理科	物理 化学 生物 地学 から2科目											
			外国語	英語(注2) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目											

【先導学類　文系傾斜】注意事項

「理科」で3科目受験している場合（つまり、「理科」の「基礎を付した科目」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）は、「 理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い方の1科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は2科目）の成績を用います。

【特別入試は次ページ下部も確認してください。】

【融合学域共通の注意】

(注1) 文系傾斜では、大学入学共通テストにおいて、『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

(注2) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験で一定以上のスコア※の場合、スコアの提出を認めます。
対象とする英語外部試験は、ケンブリッジ英語検定（リンガスキル含む）、実用英語技能検定、GTEC（CBT）、IELTS、TEAP（4技能又はCBT）、TOEFL iBT（Home Editionを含む。）です。これらの英語外部試験のスコアは得点化を行い、大学入学共通テストの「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアの提出を認める場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。
※本学が求める一定以上のスコア：ケンブリッジ英語検定：140、実用英語技能検定：1950、GTEC（CBT）960、IELTS：4.0、TEAP（4技能）：225、TEAP（CBT）：420、TOEFL iBT：42※※
※※Test Date Scoreのみ認めます。My Best Scoreは認めません。

◆最新情報は、本学のWebサイト及び入試情報アプリで確認してください。

観光デザイン学類（仮称）は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

令和４年度入学者選抜（一般選抜・前期日程）に係る実施教科・科目等（実施教科・科目・配点一覧表）

令和３年７月現在

学域	学類	入試区分	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等								
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	配点合計
融合学域	観光デザイン学類（仮称）	文系傾斜	国語	国語　必須	国語	国語総合	共通テスト	100	100(50×2)		100	50	100		450
			地理歴史	世界史B 日本史B 地理B	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B	個別学力検査	300(*)又は150(*)			150(*)又は300(*)		400		850
			公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理, 政治・経済	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	計 国語傾斜（個別）	400	100		250	50	500		1300
				『「地理歴史」から2科目』または,『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』(注1)			計 数学傾斜（個別）	250	100		400	50	500		1300
			数学	数学Ⅰ・数学A　必須 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎 から1科目											
			理科	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 物理 化学 生物 地学 『「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目』または,『「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目』											
			外国語	英語(注2) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目											
		理系傾斜	国語	国語　必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	共通テスト	100	50(50×1)		100	100	100		450
			地理歴史	世界史B 日本史B 地理B	理科	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 から1科目	個別学力検査				400	250	200		850
			公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理, 政治・経済 から1科目	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	計	100	50		500	350	300		1300
			数学	数学Ⅰ・数学A　必須 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎 から1科目											
			理科	物理 化学 生物 地学 から2科目											
			外国語	英語(注2) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目											

【観光デザイン学類（仮称）　文系傾斜】注意事項

「理科」で3科目受験している場合（つまり、「理科」の「基礎を付した科目」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）は、「 理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い方の1科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は2科目）の成績を用います。

＊個別学力検査では、「国語」と「数学」の得点を比較して、高い方の満点を300点、低い方の満点を150点とします。

【注記は前ページ下部も確認してください。】

KUGS特別入試

本学は、自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的リーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける“金沢大学ブランド”人材の育成を教育目標としており、これを実現するために６つの能力からなる金沢大学<グローバル>スタンダード（KUGS）を定めています。「KUGS特別入試」では、本学が提供する「KUGS高大接続プログラム」を受講した高校生などが、当該プログラムで課される課題レポートと、高等学校等での探究的な学びや課題意識を持って取り組んだ各種活動に関する課題レポートを提出し、KUGSに基づく評価基準で評価を受け、基準を満たした場合又は国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した場合（大学等が開講するグローバルサイエンスキャンパス事業によるプログラムにより一次選抜後に受講者を育成する二次選抜までの育成プログラムを修了した場合）に出願資格を与えます。入試では入学を希望する学類の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、口述試験や小論文などにより「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

超然特別入試

「超然特別入試」には、(1)A-lympiad（エーリンピアード）選抜Ⅰ、(2)A-lympiad選抜Ⅱ、(3)超然（ちょうぜん）文学選抜の３つの選抜があります。「超然特別入試」の選抜では、高等学校等在学中に本学が主催するコンテスト「日本数学A-lympiad」又は「超然文学賞」に応募し、所定の入賞実績を上げた場合に出願資格を与えます。「超然特別入試」は、入学を希望する学類の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、口述試験や小論文などにより志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

◆最新情報は、本学のWebサイト及び入試情報アプリで確認してください。

観光デザイン学類（仮称）は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

令和4年度入学者選抜の基本方針 [入学定員] 先導学類 55名　観光デザイン学類(仮称) 55名

1.一般選抜

前期日程／文系傾斜・理系傾斜　募集人員　先導学類　文系傾斜 20名 理系傾斜 20名
観光デザイン学類(仮称)　文系傾斜 25名 理系傾斜 15名

文系傾斜では、基礎学力を問うとともに、国語、英語に加え、数学又は総合問題を課して、理系傾斜では、基礎学力を問うとともに、数学、理科及び英語を課して、いずれも学力を多元的に評価します。

前期日程／文系一括・理系一括　募集人員　先導学類 文系・理系 各3名　観光デザイン学類(仮称) 文系 6名・理系 3名

文系一括では、基礎学力に加え、英語の学力と総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を、理系一括では、数学及び英語の基礎学力に加え、物理又は化学の学力を、それぞれ重視します。なお、一括入試での入学者は、国際基幹教育院総合教育部に1年間所属し、2年進級時に、本人の志望、学業成績等を考慮の上、移行学類を決定します。

2.特別選抜

KUGS特別入試 ／総合型選抜 II　募集人員　先導学類 6名　観光デザイン学類(仮称) 6名

基礎学力に加え、小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験（プレゼンテーションを含む。）では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

KUGS特別入試 ／英語総合選抜 II　募集人員　先導学類 若干名　観光デザイン学類(仮称) 若干名

基礎学力に加え、英語による総合的な課題（総合問題）、口述試験（プレゼンテーションを含む。）を課して、論理的思考力や国際的なコミュニケーション能力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を中心に多面的・総合的に判定します。

超然特別入試 ／ A-lympiad（エーリンピアード）選抜 I　募集人員　先導学類 若干名　観光デザイン学類(仮称) 若干名

口述試験（プレゼンテーションを含む。）では、多面的な質問を行い、数学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

超然特別入試 ／超然（ちょうぜん）文学選抜　募集人員　先導学類 若干名　観光デザイン学類(仮称) 若干名

口述試験（プレゼンテーションを含む。）では、多面的な質問を行い、文学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

在外留学生推薦入試　募集人員　先導学類 3名　観光デザイン学類(仮称) 若干名

口述試験（プレゼンテーションを含む。）では、多面的な質問を行い、本学入学後の勉学意欲や学類への適性を総合的に評価します。

社会人選抜　募集人員　先導学類 若干名　観光デザイン学類(仮称) 若干名

小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価します。口述試験（プレゼンテーションを含む。）では、多面的な質問を行い、勉学意欲や学類への適性を評価し、実務経験での努力のプロセス及び志願理由書等の書類を含めて多面的・総合的に審査します。

帰国生徒選抜　募集人員　先導学類 若干名　観光デザイン学類(仮称) 若干名

国語、数学及び英語から2教科を課し、基礎学力を問うとともに、口述試験（プレゼンテーションを含む。）により理解度、勉学意欲、基本的知識等を多面的・総合的に評価します。

国際バカロレア入試　募集人員　先導学類 若干名　観光デザイン学類(仮称) 若干名

出願資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え、小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験（プレゼンテーションを含む。）では、理解度、勉学意欲、基本的知識等を、多面的・総合的に評価します。

私費外国人留学生入試　募集人員　先導学類 若干名　観光デザイン学類(仮称) 若干名

基礎学力を重視するとともに、口述試験（プレゼンテーションを含む。）により、コミュニケーション能力、勉学意欲及び本学での学びに必要な能力・資質を、多面的・総合的に評価します。

【注 意】 1　出願前には、必ず最新の情報を本学Webサイト及び学生募集要項で確認してください。
2　特別選抜において、Iは大学入学共通テストを課さない入試、II は大学入学共通テストを課す入試を指します。
3　令和４年度設置申請中の観光デザイン学類(仮称)の入学定員55名のうち、40名は「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」に係る令和4年度入学定員増員に申請予定です。

観光デザイン学類（仮称）は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

令和３(2021)年 ４月設置

融合学域

先導学類

School for the Future of Innovation in Society, College of Philosophy in Interdisciplinary Sciences

大きく変わろうとしているこれからの社会では、学問分野を問わず幅広い知見を備えた「社会変革を先導する中核的リーダー」となる人材が不可欠です。イノベーションの創成をリードする社会変革人材の育成を目指し、令和３(2021)年に融合学域先導学類を設置しました。
鍛錬科目では、国際インターンシップと海外実践留学いずれかを必修とすることに加え、プロジェクト実践型演習を課し、ダイバーシティ環境や多様な条件下で最新の知見や他者との共創を学びます。
また、学生自らが企画・立案し、現実社会のシステムや制度、未来の課題を対象に自由な発想で教員や学外者と共にアプローチし、より実践的に学ぶ環境があります。

[一般選抜]
前期日程(文系傾斜、理系傾斜)、
前期日程(文系一括、理系一括)

[特別選抜]
KUGS特別、超然特別、在外留学生推薦、社会人、
帰国生徒、国際バカロレア、私費外国人留学生

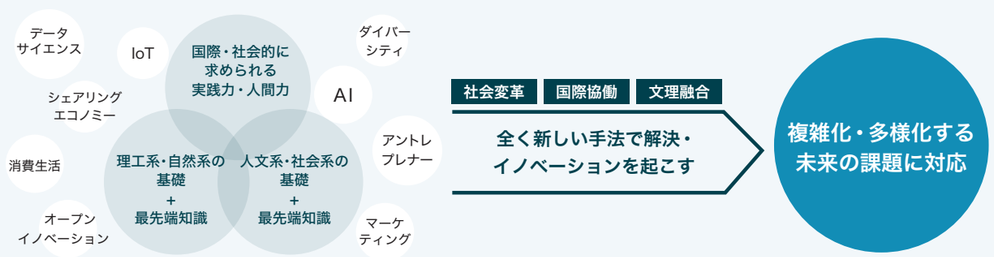
《先導学類》の養成する人材像

地球規模で急速に起こっている社会の変容や科学の進展を的確に踏まえた上で、表出する複層的な諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、新たな「知」を社会へ展開する意欲と素養を身に付けた社会変革を先導する人材の育成を目指しています。

[求める人材]

先導学類では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- 様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- 多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- 最先端の学知を連携・融合し、社会変革に資する新たな創成に挑戦したい人

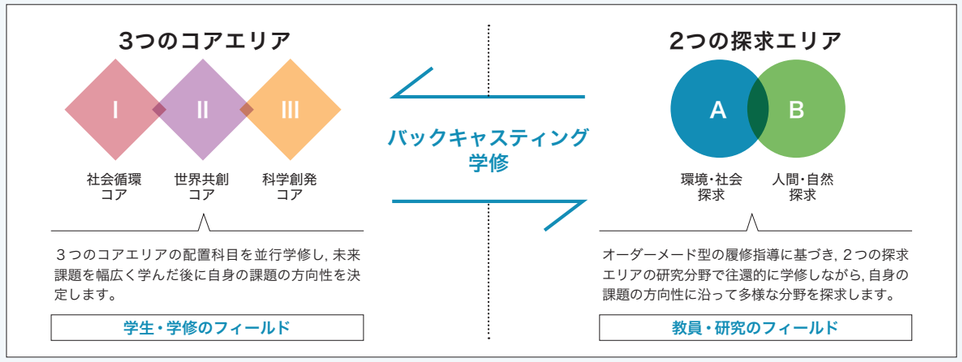


1 柔軟に学ぼう！
文理融合エリアで専門知識を身に付ける

► **〈コアエリア×探求エリア〉**による学修を実践します。
偏りのない文理融合エリアのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

[コアエリア × 探求エリア]

基礎を体系的に学修しながら、先鋭的な学びも横断して学修できるカリキュラム。



2 社会へ飛び出そう！
多様な人・価値観に触れ、人間力を鍛える

► １年次は**【金沢大学〈グローバル〉スタンダード(KUGS)】**に基づいて共通教育科目を中心に学修し、常に恐れることなく困難に立ち向かっていける能力・体力・人間力を養います。

► 2年次以上では、**アントレプレナーインターンシップ**・海外実践留学・国際インターンシップなど国内外への派遣を必修とし、社会に飛び出して沢山の経験を積み、実践力を身に付けます。

[金沢大学〈グローバル〉スタンダード]

金沢大学独自の人材育成基準（６つの学修成果）

KUGS
Kanazawa University "Global" Standard

1．自己の立ち位置を知る
2．自己を知り、自己を鍛える
3．考え・価値観を表現する
4．世界とつながる
5．未来の課題に取り組む
6．新しい社会を生きる

[アントレプレナーシップの養成]

産業界と連携し、学内外で起業家精神や実践手法を学ぶ。

3 自ら実践しよう！
未来の課題に取り組み、社会変革に踏み出す

► ３年次半ばから４年次には、身に付けた知見を連携・融合し、自身の設定した課題解決やインターンシップによる実証実験・社会実装プロジェクト等の立ち上げに挑戦できます。

[プロジェクト実践型演習]

自らが設定した未来課題とその解決策について、
より実践的なものとして深化させる。

学術考究 or 潜在課題探査分析 ⟷ 先導プロジェクト演習

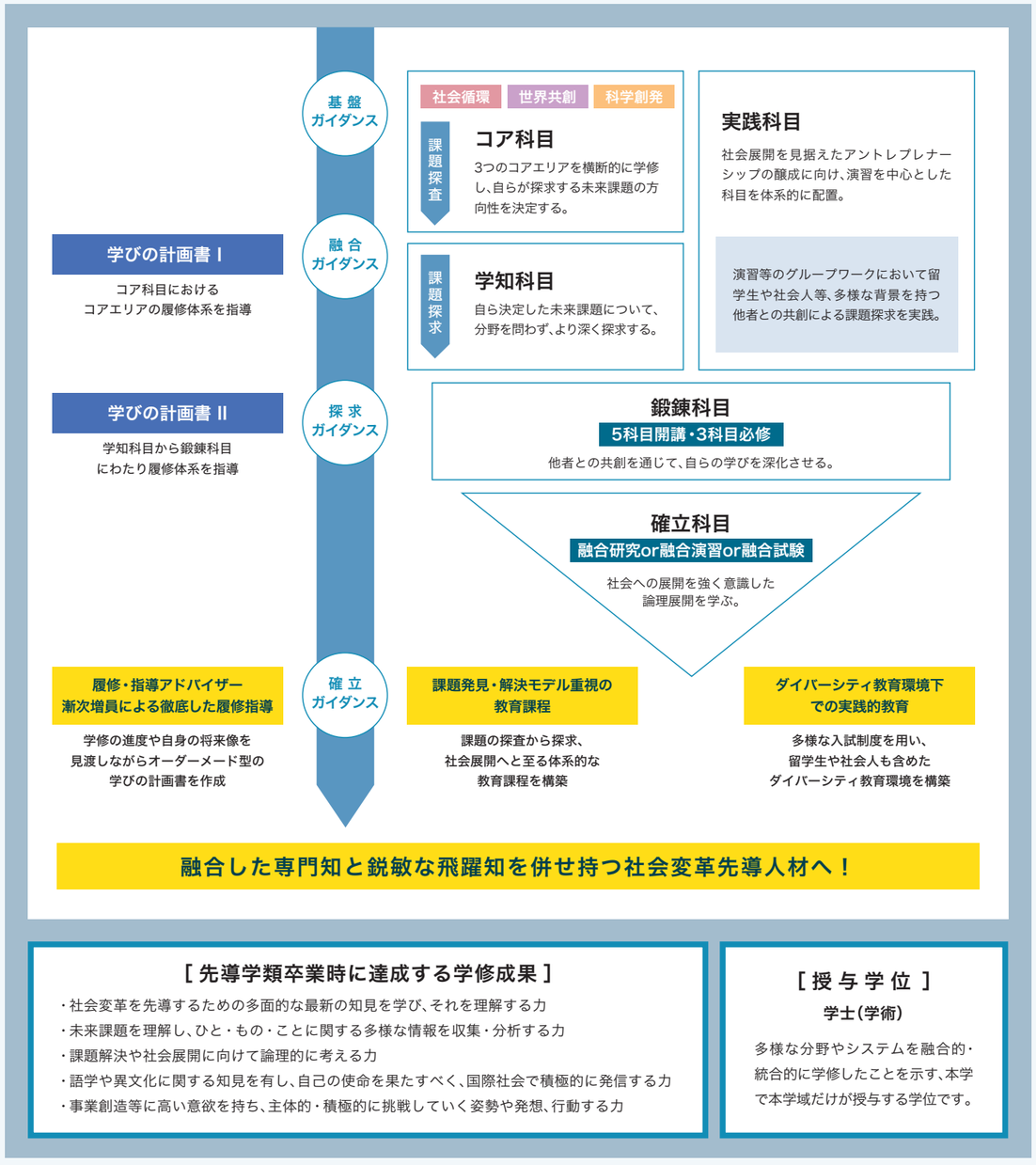
学修マップ

先導学類の特色

［第5期科学技術基本計画（2016年1月）］

科学技術イノベーションを「科学的な発見や発明等による**新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造**と、それらの知識を発展させて**経済的、社会的・公共的価値の創造**に結び付ける革新」と定義

国の提言等を踏まえ、新たな「知」の創出に向けた**文理融合型教育**と社会への展開を見据えた**アントレプレナーシップ教育**を体系的に行う教育システムを構築。
各界で未踏の **科学技術イノベーションを創成し、社会変革を先導する人材** を養成。



［先導学類卒業時に達成する学修成果］

- 社会変革を先導するための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- 未来課題を理解し、ひと・もの・ことに関する多様な情報を収集・分析する力
- 課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- 語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- 事業創造等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

［授与学位］

学士（学術）

多様な分野やシステムを融合的・統合的に学修したことを示す、本学で本学域だけが授与する学位です。

カリキュラム

片寄りのない文理融合プログラムのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

共通教育科目　36単位以上

導入科目　GS科目　GS言語科目　基礎又は初習言語科目　自由履修科目

専門教育科目　88単位以上

学域GS科目　6単位

アカデミックスキル
数理・データサイエンス基礎及び演習
プレゼン・ディベート論
デザイン思考
イノベーション基礎

学域GS言語科目　2単位

学域GS言語科目Ⅰ／海外実践英語
学域GS言語科目Ⅱ／時事・学術英語

専門基礎科目

実践科目　10単位

アントレプレナー基礎
デザイン思考演習
アントレプレナーコンテスト／実践リーダー
アントレプレナー演習Ⅰ
アントレプレナーインターンシップ
アントレプレナー演習Ⅱ
アントレプレナーコンテスト／リーダー養成

コア科目　18単位以上

社会循環コアエリア

ファイナンス基礎
AIと未来社会
倫理学
現代社会を知る
社会変動と労働生産性
シェアリングエコノミー
フィンテック基礎とビジネス応用
超スマートシティと Society 5.0
消費生活論

世界共創コアエリア

ダイバーシティ促進
人の流動と定着
SDGs基礎
マーケティング基礎
異文化理解とキャリア開発
グローバリゼーション
国際協力体制
国際世界と特許
ビジネスと政治

科学創発コアエリア

テクノロジー基礎
数理統計学基礎
IoT技術
人工知能
社会的な視点から見る医療
生命科学的な視点から見る医療
世界変革技術論
世界の課題と技術トレンド
未来医科学

専門科目

学知科目　30単位以上

先導数学
SDGs実践
マーケティング論
情報ネットワーク
プロジェクト・マネジメント
コンピュータとデジタル回路
生活デザイン論
超高齢社会と科学技術
アプリ開発
管理会計論
テクノロジーと医療・健康・介護
地域政策論
光学技術論
レギュラトリーサイエンス
コンピュータと電子回路
先端医学
データサイエンス実践
経営管理論
心理学概論
医療制度改革と医療経済
都市・交通デザイン
知的財産法
地域包括ケアと地方創生
マテリアル科学
データベース論
プランニング最適化
未来型ヘルスケアシステム
地球環境論
AI・IoT健康福祉学
環境基礎科学
プログラミングスキル
需要予測
創業支援論
公共政策論
センシング論
ESG投資
生活環境学
経営戦略論
国際経営論
プレシジョンメディシン
比較制度論
機械学習
イノベーション・マネジメント
フィジカル・ブレイン接続

鍛錬科目　4単位

先導プロジェクト演習
学術考究
海外実践留学
潜在課題探査分析
国際インターンシップ

確立科目　8単位

融合研究
融合演習
融合試験

自主選択枠　10単位以上　【別に定める専門教育科目から】

先導学類の学生に VOICE 聞きました!!

【令和3年4月入学者】

質問内容 | ❶ 先導学類を選んだ理由は？ ❷ 将来の夢は？

中田　貴水さん
［石川県出身］

夢の実現に向けて

❶ 高校３年生の冬の初めごろ、進学先を悩んでいた時期に金沢大学のWebサイトを眺めていると、新設される融合学域先導学類の紹介が目に入りました。他の学域とは違って、学域の壁を越えていろいろなことができるといった内容でした。以前、高校生に向けたアンケートで、文理融合の新学域が金沢大学にできるということは聞いていて、面白そうだと思っていましたので、その紹介を見て、「ここだ！」と即決しました。まだ入学して日は浅いですが、入ってよかったと感じています。

❷ 将来の夢は、まだこれといったものはありません。「自分がしたいと思ったことを実現できる人間になる」が夢（仮）です。この学類は、夢（仮）を実現する手助けにもなってくれます。なぜなら、幅広い分野を学ぶことが出来るため、夢が見つかった時に実現可能な範囲に留まるからです。まだ夢が見つからないという人にもおススメの学類です。

今門　凪海さん
［東京都出身］

世界中の人を笑顔に

❶ 高校3年生でも将来のビジョンが定まっておらず、行きたい学部を決定することが難しい状況でした。また、高校生の段階で専攻を選ばなければいけないことに疑問を感じていた時、先導学類について聞き、調べたところ文系理系関係なく学べる文理融合の学部だと知りました。今まで大学では１つの学問しか学べず、それで自分の職業がほぼ決まってしまうと思っていたので、様々なことを学べる環境であることが受験の１番の決め手です。

❷ 将来の夢は世界中の人を笑顔にし、幸せにすることです。この夢をかなえるには計り知れないほどの努力、明確な計画、実行力、同じ夢を持つ仲間などあらゆるものが必要となります。この大きな夢に向かって進むうえで先導学類に入ったことはプラスの影響だと思います。なぜならこの大きな一見するとばかげていると思われるようなことの実現を促す場であり、チャレンジできる環境だからです。この夢を実現しようと思います。

永森　幹人さん
［愛知県出身］

グローバルに活躍

❶ 僕には夢がたくさんあり、研究者になってなにかを一心に勉強したいし経済力もほしい。海外にも行きたいし、プログラミングや営業マンもやってみたい。本当にやりたいことを決めきれないまま高校3年生の進路選択を迎えたとき、出会ったのがこの学類のパンフレットでした。最初は「融合？」「先導？」大学の学部とは思えず、興味本位で手に取ると、融合学域では文系と理系のどちらの科目も履修できることやカリキュラムに起業や留学が含まれていることなど、さまざまな選択肢があり、やりたいことが明確に定まっていない自分のためにあるような学部に思えました。

❷ 自分は高校生のときは理系でしたが、将来はグローバルな仕事をしたいので今は文系と理系両方の基礎的科目を幅広く学んでおり、ここでしかできないことが学べ、来て本当によかったと思っています。AIの進化やグローバル化が進むこの難しい未来に向けて融合学域はさまざまな選択肢を用意してくれます。

吉原　涼葉さん
［滋賀県出身］

毎日が刺激の連続

❶ 先導学類を選んだ決め手は、第１期生となるところです。土台はできているものの、自分たちで創り上げていけるのが魅力的でした。また、学類自体の人数が少ないことも選んだ理由の一つであり、好奇心旺盛な面白い人たちが集まると踏み、深く関わり、刺激を受けるのではないかと考えました。さらに文系、理系、医療系を問わず様々なことを学ぶことができます。私は文系でしたが、違う分野の考え方も持つ方が、ものを様々な角度から眺めることができ、人生がより豊かになると考えました。

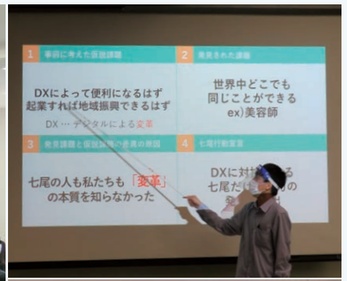
❷ 入学後、思った通りの人たちが沢山いて、自分から動く姿に日々刺激を受けています。以前は、世界共創のような分野にしか興味が湧きませんでしたが、彼らと接し、もっと様々な分野を学びたくなりました。自分から何か事業を立ち上げてみたいと思うようになりました。過去の私からは想像もつかないことです。同学類のみんなと互いに高め合い、エネルギー溢れる充実した大学生活を送っていきたいです。

藤澤　志穂さん
［石川県出身］

ビジネスも国際交流も特化した存在に

❶ AIの台頭や、新型コロナウイルスの感染拡大など、社会が大きく変わろうとしているなか、既存の学部で専門的な内容を修めることに少々リスクがあると考え、社会変革を先導する人材を育てることが目的の先導学類を選びました。高校では理系でしたが、この学類は文理融合的に学べるため、自分のその時の関心のままに学べるのも魅力の一つだと思います。年を経て、私たちと同じ志を持つ集団が増えていくことで、人脈が広がるかもしれないという期待もしています。

❷ 大学ではアントレプレナーとしての素養を身につけ、海外留学にも行くため、ビジネスと国際交流に力を入れ、どちらにも特化した存在になりたいと考えています。在学中に起業やそのサポートを通して実社会を学び、大学を出た後は、企業への助言をしたり、事業を起こしたりしたいと考えています。できるだけ在学中にいろんな体験をしようと思い、将来に向けて中小企業診断士の資格勉強もしています。



令和３年度先導学類入学者選抜試験　実施状況

令和３年４月現在

区　分			募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	競争倍率	辞退者	追加合格者	入学者	男	女
一般選抜	前期日程	文系傾斜	20	73	3.7	72	27	2.7	1		26	14	12
		理系傾斜	20	68	3.4	58	26	2.2			26	23	3
	一般　計		40	141	3.5	130	53	2.5	1		52	37	15
特別選抜	KUGS特別	総合型Ⅱ	2	4	2.0	4	3	1.3			3	1	2
		英語総合Ⅱ	2	0	0.0						0		
	超然特別	A-lympiad	若干名	0							0		
		超然文学	若干名	0							0		
	在外留学生推薦		5	0	0.0						0		
	社会人		若干名	0							0		
	帰国生徒		若干名	1		1	0				0		
	国際バカロレア		若干名	0							0		
	私費外国人留学生		若干名	0							0		
	特別　計		9	5	0.6	5	3	1.7	0	0	3	1	2
合　計			49	146	3.0	135	56	2.4	1	0	55	38	17
											男女比	69%	31%

※令和4年度以降、一括入試入学者から6名が2年次に加わる予定。
　令和5年度以降、編入学試験合格者から25名が3年次に加わる。

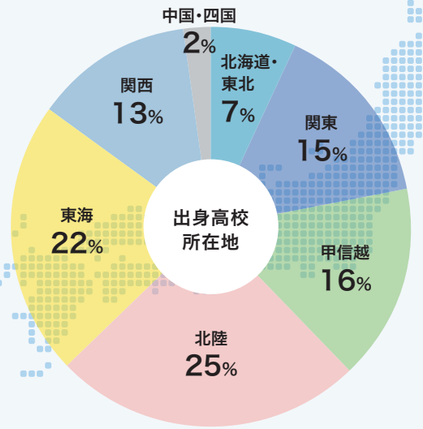
令和３年度先導学類入学者選抜試験　得点状況

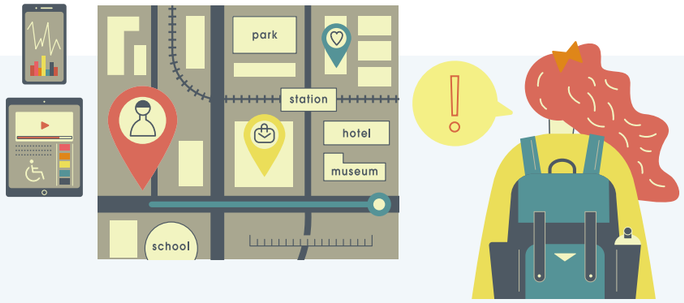
令和３年４月現在

区　分			大学入学共通テスト				個別学力検査				合　計			
			満点	最高点	最低点	平均点	満点	最高点	最低点	平均点	満点	最高点	最低点	平均点
一般選抜	前期日程	文系傾斜	500	397.50	317.50	366.50	800	639.30	467.30	537.50	1,300	1,036.80	823.00	904.00
		理系傾斜	450	358.00	280.50	322.10	850	578.50	432.50	511.70	1,300	922.70	765.00	833.80

※主体性等評価の得点は含まない。募集人員又は合格者のいずれかが10名未満なので, 他の選抜分は開示しない。

令和３年度先導学類入学者　出身高校所在地





令和4（2022）年 4月

融合学域
観光デザイン学類（仮称）［設置申請中］

School of Tourism Sciences and Design, College of Philosophy in Interdisciplinary Sciences

我が国の観光産業を牽引し、新たな観光価値を創出することができる人材の養成に向け、融合学域に〈観光デザイン学類（仮称）〉を設置申請中です。
人の心理・行動や地域の歴史・文化的価値を探求する人文科学的アプローチ、観光を基軸としたビジネスの展開を見据えた社会科学的アプローチ、Society 5.0を見据えた科学技術的アプローチを有機的に連携させながら、文理融合型の学びを通して観光価値の創出を目指します。

［一般選抜］
前期日程（文系傾斜、理系傾斜）、
前期日程（文系一括、理系一括）

［特別選抜］
KUGS特別、超然特別、在外留学生推薦、社会人、
帰国生徒、国際バカロレア、私費外国人留学生

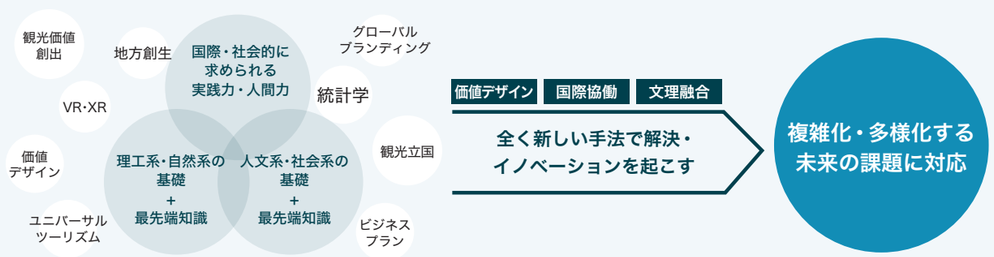
《観光デザイン学類（仮称）》の養成する人材像

地球規模で急速に起こっている社会の変容や価値の共感を的確に踏まえた上で、我が国の観光産業の諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、Society 5.0や新たな日常に対応し、多核連携型の国際観光立国を見据えた新たな観光価値をデザインする人材の育成を目指しています。

［求める人材］

観光デザイン学類（仮称）では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- 様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- 多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- 最先端の学知を連携・融合し、観光に資する新たな価値創出に挑戦したい人



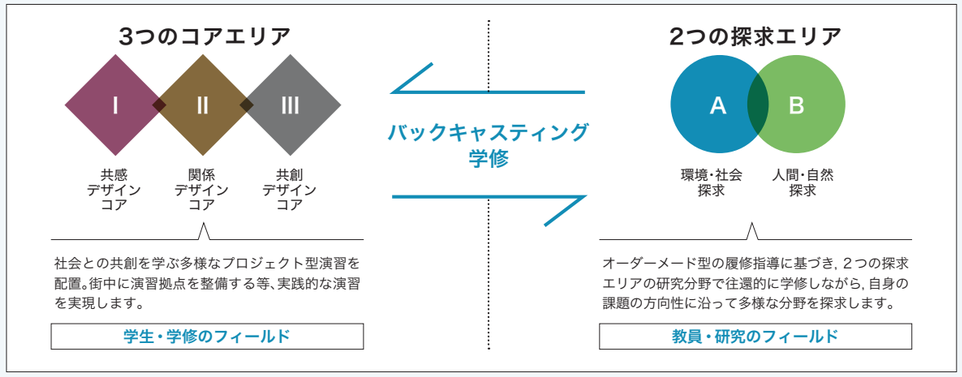
上記は、設置申請中のものであり、今後変更もあり得ます。

1 柔軟に学ぼう！
文理融合で基礎～応用力ある専門知識を身に付ける

- 偏りのない文理融合プログラムのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。
- 観光をはじめ、ビジネステクノロジーに関する基礎を人文科学・社会科学・自然科学の3つのアプローチで観光の基礎を学びます。
- 3つのコアエリアと2つの探求エリアを往還的に学び、自己の「問い」を深化させます。

［コアエリア × 探求エリア］

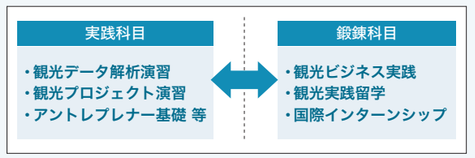
基礎を体系的に学修しながら、先鋭的な学びも横断して学修できるカリキュラム。



2 社会へ飛び出そう！
多様なプロジェクト参画で社会との共創や実践力を学ぶ

- 実践科目や鍛錬科目を通じて、社会との共創を学びます。
- 街中に整備する演習拠点で、自治体や産業界と連携した実践的な演習を実践します。
- 観光ビジネス実践、観光実践留学、国際インターンシップから選択し、短期から長期にわたるプロジェクトを実践します。
- 専門知を基軸としながら、学生の自由な発想により、社会と共創した新しい観光価値を創出します。

［新機軸を打ち出す多様なプロジェクトに参画］



兼六園

国際インターンシップ

3 地方創生を考えよう！
魅力ある観光の価値デザインを地域でのプレゼンスに活かす

- 地域×本学×産業のシナジーを見据え、これからの地方創生をデザインします。
- 地域の資源・課題・知見を活かして、思考・発想・実践を多面的に捉え、産業創出・振興や温故知新を学びます。
- 石川県・金沢市を端緒としたプラットフォームでソリューションを実践的に学びます。

金沢港クルーズターミナル
写真提供：金沢市

上記は、設置申請中のものであり、今後変更もあり得ます。

学修マップ

観光デザイン学類（仮称）の特色

［経済財政運営と改革の基本方針2020（2020年7月）］

ポストコロナ時代においてもインバウンドは大きな可能性があり、2030年に6000万人とする目標等の達成に向けて、**観光先進国を実現するために官民一体となって取り組む。**

［知的財産戦略ビジョン（2018年6月）］

経済的価値にとどまらない多様な価値が包摂され、そこで多様な個性が多面的能力をフルに発揮しながら、**「日本の特徴」をもうまく活用し、様々な新しい価値を作って発信し、世界の共感を得る。**

これらの国の提言等を踏まえ、**文理融合型教育**や**アントレプレナーシップ教育**を体系的に行い、新たな観光デザインに取り組みます。

基盤ガイダンス

基盤科目
3つのアプローチで観光の基礎を学ぶ
文理融合やバックキャスティング学修で観光をはじめビジネスやテクノロジーに関する基礎を幅広く学修することが可能

実践科目
社会展開を見据えたアントレプレナーシップの醸成に向け、演習を中心とした科目を体系的に配置。

融合ガイダンス

学びの計画書Ⅰ
基盤科目における
アプローチで履修体系を指導

共感デザイン　関係デザイン　共創デザイン
学知科目
3つのコアエリアを往還的に学ぶ
１つのコアエリアに主軸を置きながら他コアエリアを往還して学修することが可能

演習等のグループワークにおいて留学生や社会人等、多様な背景を持つ他者との共創による課題探求を実践。

探求ガイダンス

学びの計画書Ⅱ
学知科目から鍛錬科目
にわたり履修体系を指導

鍛錬科目
観光ビジネス実践・観光実践留学・国際インターンシップ
社会実装型演習や海外での学修により実践力を磨く

確立科目
融合研究or融合演習or融合試験
学修の集大成として自らが設定した課題に取り組み
イノベーションを創成

確立ガイダンス

履修・指導アドバイザー 漸次増員による徹底した履修指導
学修の進度や自身の将来像を見渡しながらオーダーメード型の学びの計画書を作成

課題発見・解決モデル重視の教育課程
課題の探査から探求、社会展開へと至る体系的な教育課程を構築

ダイバーシティ教育環境下での実践的教育
多様な入試制度を用い、留学生や社会人も含めたダイバーシティ教育環境を構築

融合した専門知と鋭敏な飛躍知を併せ持つ観光価値創出人材へ！

［観光デザイン学類（仮称）卒業時に達成する学修成果］

- 観光価値をデザインするための多面的な最新の知見を学び、それを理解する力
- 未来課題を理解し、ひと・もの・ことに関する多様な情報を収集・分析する力
- 課題解決や社会展開に向けて論理的に考える力
- 語学や異文化に関する知見を有し、自己の使命を果たすべく、国際社会で積極的に発信する力
- 価値創出等に高い意欲を持ち、主体的・積極的に挑戦していく姿勢や発想、行動する力

［授与学位］

学士（学術）

多様な分野やシステムを融合的・統合的に学修したことを示す、本学で本学域だけが授与する学位です。

上記は、設置申請中のものであり、今後変更もあり得ます。

カリキュラム

課題発見・解決・展開モデル型の階層化した教育課程で、最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

共通教育科目　36単位以上

導入科目　GS科目　GS言語科目　基礎又は初習言語科目　自由履修科目

専門教育科目　88単位以上

学域GS科目　6単位
アカデミックスキル
数理・データサイエンス基礎及び演習
プレゼン・ディベート論
デザイン思考
イノベーション基礎

学域GS言語科目　2単位
学域GS言語科目Ⅰ／海外実践英語
学域GS言語科目Ⅱ／時事・学術英語

専門基礎科目

実践科目　13単位
アントレプレナー基礎
ワークショップデザイン演習
形態・色彩デザイン論
プログラミングスキル
観光プロジェクト演習Ⅰ
アントレプレナー演習Ⅰ
観光データ解析演習
ビジネスプラン作成演習
アプリ開発
観光プロジェクト演習Ⅱ
アントレプレナー演習Ⅱ
デザイン技術演習
地理情報システム演習
創生インターンシップ

基盤科目　19単位以上
ホスピタリティ概論
ダイバーシティ促進
観光マーケティング基礎
観光倫理学
環境と観光
確率・統計学基礎
北陸の都市・農村・文化
数理行動モデル基礎
観光デザイン学基礎
人工知能
観光調査法
観光の公衆衛生学
異文化理解とキャリア開発
北陸観光産業論
シェアリングエコノミー
世界変革技術論
デザイン経営
超スマートシティとSociety 5.0
観光法制度論
SDGs基礎
日本の工芸とデザイン
観光地域ビジネス論

専門科目

学知科目　26単位以上

共感デザインコアエリア
エンタテインメントマネジメント論
文化と消費社会
比較地域発展論
無形文化遺産論
国際プロジェクトマネジメント・評価法
資源活用と環境共生
実践ブランディング
SDGs実践
持続的な観光
グローバルブランディング論
文化と地域経済
自然観光論
人間工学
文化観光論
伝統文化変容論
ヘリテージ・インタープリテーション
生活デザイン論
観光資源開発論
観光資源マネジメント論

関係デザインコアエリア
IoT技術
行動経済学
情報政策論
時空間データ解析
観光VR・XR
プランニング最適化
需要予測
交流ネットワーク科学
Web・クチコミ社会動向分析
グローバル・アクセシビリティ論
知的財産法
国際メディア分析論
データベース論
データサイエンス実践
観光データ解析応用
都市・交通デザイン
統計的意思決定論
国際コンフリクト・マネジメント
観光DX

共創デザインコアエリア
観光地経営論
観光開発・計画論
イベント経営論
リノベーション論
ソーシャル・ビジネス論
地域社会学
ホスピタリティ・マネジメント
地域観光政策論
景観デザイン学
地域マネジメント論
工業デザイン
パブリックスペース論
観光社会学
地域計画基礎
設計デザイン
コミュニティ・デザイン論
都市計画
計画プロセス
地域居住論

鍛錬科目　4単位
観光ビジネス実践A
観光実践留学A
国際インターンシップA
観光ビジネス実践B
観光実践留学B
国際インターンシップB
観光ビジネス実践C
観光実践留学C
国際インターンシップC

確立科目　8単位
融合研究
融合演習
融合試験

自主選択枠　10単位以上　【別に定める専門教育科目から】

上記は、設置申請中のものであり、今後変更もあり得ます。

［ 探求エリア　環境・社会 ］

全体最適な環境・社会の構造発展を探求

観光という切り口から新しい社会のデザインにチャレンジしましょう

経済学
佐無田　光
SAMUTA Hikaru

KEYWORD
地域経済学／内発的発展／サステイナビリティ／地域の価値／地域の多様性

社会学的想像力とリサーチマインドで「観光」を科学しよう！

社会学
眞鍋　知子
MANABE Tomoko

KEYWORD
コミュニティ／ソーシャル・キャピタル／まちづくり／市民協働／ワークショップ

「ひかり」に群れるな、「かがやき」を放て！
～真のアントレプレナーたるもの、来たれ

グローバルアントレプレナー論
リスタートアップ論
松島　大輔
MATSUSHIMA Daisuke

KEYWORD
イノベーションの興し方／課題発見型学習／方法としての新興アジア／世阿弥のプレゼン道／ビヨンド・コロナ

インバウンドの対象は世界の70億人です

社会学
日比野　由利
HIBINO Yuri

KEYWORD
科学技術の倫理的・法的・社会的問題(ELSI)／ジェンダー／家族・生殖・子ども

様々な企業や研究室の仲間とともに
イノベーション創出に挑戦しよう！

イノベーション論
マーケティング論
金間　大介
KANAMA Daisuke

KEYWORD
新製品開発プロセスの探求／ビジネスモデルの立案・評価／企業の競争力の源泉／企業と大学の連携／チャレンジ精神や創造性の源泉

世の中、自然、文化、環境、地球にツーリズムを通して貢献したい！
という志のある方

Interpretation
山田　菜緒子
YAMADA Naoko

KEYWORD
保全教育・コミュニケーション／インタープリテーション／持続可能な観光／旅行者行動／ツアーガイディング

自分が望む社会を創るための原動力に、自分がなる

持続可能な発展
河内　幾帆
KOUCHI Ikuho

KEYWORD
SDGs ／環境問題／ソーシャルイノベーション／アクティブラーニング／環境教育

壁を越えよう！その先には新しい未来がある

家政学・生活科学
尾島　恭子
OJIMA Kyoko

KEYWORD
消費生活／消費者教育／生活経営／生活文化

住民や観光者など多様な人と協力し、
社会や空間の問題をデザインの力で解決しよう！

コミュニティ・デザイン
丸谷　耕太
MARUYA Kota

KEYWORD
都市デザイン／観光とまちづくり／ランドスケープ／文化的景観／伝統工芸

金沢から世界へとイノベーティブに羽ばたこう!

言語学
ダガン　さがの
DUGGAN Sagano

KEYWORD
グローバルコミュニケーション／アカデミックイングリッシュ／実践英語／海外留学

文系か理系かの枠にはまらず、興味があること、
必要なことを自分でデザインして学んでいこう

都市・交通工学
中山　晶一朗
NAKAYAMA Shoichiro

KEYWORD
交通計画／都市・地域デザイン／スマートシティ／次世代モビリティ／人々の移動と生活行動

起業家や科学者にとって何よりも大事なのは
人の心をつかむ能力である

哲学・倫理学
小田桐　拓志
ODAGIRI Takushi

KEYWORD
倫理／技術／環境／生命／映画

旅人も住人も居心地のよい社会を、ことばと文化を軸に、
共にデザインしませんか

ことばとコミュニケーション
松田　真希子
MATSUDA Makiko

KEYWORD
観光と言語／言語的文化的多様性／移民／留学／メディアリテラシー

自分の個性や能力を活かして力を尽くすための
知識や方法を学びませんか

環境科学
西脇　ゆり
NISHIWAKI Yuri

KEYWORD
環境／バイオマス／生分解性／セルロース／透明な木

ここに紹介の教員はごく一部です。これからさらに教員を増やし、充実したカリキュラムを提供していきます。

観光デザイン学類（仮称）は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

［ 探求エリア　人間・自然 ］

持続可能な人間・自然の基盤進化を探求

あらゆる学問の壁を取り払って融合させてこそ
未来の科学が始まる！

人間医工学

宮地　利明
MIYATI Tosiaki

KEYWORD
健康・保健・医療／からだの中をうつしだす／生体機能イメージング／ MRI・CT・超音波・近赤外光・・・

イノベーションは、
意外な分野や未開の分野への技術の転用から始まる！

応用情報学

佐藤　賢二
SATOU Kenji

KEYWORD
機械学習／ DNA配列／画像認識／文字列の意味／動物の行動

新型コロナウイルス感染症を乗り越えた
新しい社会で活躍ししよう

生体情報内科学

大竹　茂樹
OHTAKE Shigeki

KEYWORD
白血病／臨床研究／化学療法／臨床検査／インターネット

観光デザイン学で次世代が選択できる
豊かな地域社会の実現を一緒に考えよう！

都市計画

川澄　厚志
KAWASUMI Atsushi

KEYWORD
観光まちづくり／コミュニティ開発／地域資源／持続可能性／小規模住民組織

堅実な科学技術に基づいた起業が
日本そして世界の将来の繁栄につながる

がん診断・治療学

高松　博幸
TAKAMATSU Hiroyuki

KEYWORD
がんと遺伝子／免疫療法／生物・医用工学／ナノバイオプロセス／バイオリアクター

Think Big, Start Small, Learn Fast!

メディカルイノベーション

米田　隆
YONEDA Takashi

KEYWORD
予防医学・健康増進／デジタル医療（AI／IoT・Big data）／医療政策／遠隔診療／オンライン診療

数理の力を活かし、
Society 5.0に向けた新たな観光をデザインしましょう

応用数学

和田　啓吾
WADA Keigo

KEYWORD
実データ解析／数値計算／統計学／数理モデル／微分方程式

金沢から世界へ！世界の人の「健康」を一緒に考えてみませんか

社会医学

石﨑　有澄美
ISHIZAKI Azumi

KEYWORD
国際保健／ウイルス感染症／疫学／公衆衛生学／ SDGs

鳥の目・虫の目・魚の目・コウモリの目を鍛え、
縦横無尽に生きる力を養いませんか

文化人類学

髙沼　理恵
TAKANUMA Rie

KEYWORD
異文化理解／自分の人生の方向性の検討／他者との協働・対話／越境型教育／経験から学ぶ

自分は文系とか理系とかの枠に収まらないと思う人は是非

人間情報学

南保　英孝
NAMBO Hidetaka

KEYWORD
人工知能／機械学習／ IoT ／センサ情報処理／医療情報処理

様々な視点・解析手法を学び、
金沢の地で「旅行」についてじっくり考えてみませんか

交通計画学

山口　裕通
YAMAGUCHI Hiromichi

KEYWORD
長距離旅行行動／行動データ解析／都市間交通ネットワーク設計／データサイエンス

世の中をより楽しく良くするため何をなすべきか、
分野の枠を超えて取り組みましょう

電子工学

秋田　純一
AKITA Junichi

KEYWORD
半導体／ Make ／ユーザインタフェース／ IoT

様々な分野が融合すると楽しいことが
たくさんあります！ ぜひ先導学類へ！！

土木計画学

藤生　慎
FUJIU Makoto

KEYWORD
交通・防災・まちづくり／まちなか観光・クルーズ観光／医療ビッグデータ／インフラの維持管理／多種多様なビッグデータ

国際的視座にたち、誰もがアクセスすることができ、
楽しむことのできる観光を実現しよう

公衆衛生学

堤　敦朗
TSUTSUMI Atsuro

KEYWORD
アクセシブル・ツーリズム／ウェルビーイング／ソーシャル・デザイン／多様性と包括／国際

ここに紹介の教員はごく一部です。これからさらに教員を増やし、充実したカリキュラムを提供していきます。

観光デザイン学類（仮称）は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

融合学域では，文理融合の多彩な授業科目から、個人に最適な履修科目を選定するため、教員による手厚い履修指導を行います。
学生と教員等との協働の場として、毎年次 **ガイダンス**を開催し、未来課題の方向性と課題解決の糸口を結び付けながら、
学生の出口志向等を見据えたオーダーメード型の**「学びの計画書」**を作成していきます。

入学ガイダンス	入学時	入学者を対象に、履修ガイダンス及び学類オリエンテーションを行います。
基盤ガイダンス	1年次	クラスごとに配置する指導教員から、履修方法や正課外での活動を含む教務・学生生活全般にわたる指導を受けます。
融合ガイダンス	2年次	各学生の共通教育科目における履修状況や学修進度等を踏まえ、オーダーメード型の**「学びの計画書Ⅰ」**を作成します。体系化した学びから課題を設定し、教員のアドバイスにより自身の将来像を明確にしていきます。
探求ガイダンス	3年次	コアエリアにおける履修状況や学修進度、未来課題設定に向けた方向性等を踏まえ、**「学びの計画書Ⅱ」**を作成します。必要に応じて他学類開講科目の履修や、基礎的な知見を身につけるためのバックキャスティング学修※を取り入れます。教員の指導による、多様な分野の学びも未来課題設定につながる道筋になります。
確立ガイダンス	4年次	指導教員と**「学びの計画書Ⅰ・Ⅱ」**の進捗を確認するとともに、個人の学びに応じてバックキャスティング学修※や他学類開講科目等も含めて履修を指導します。さらに、卒業研究・演習・試験に関し、必要に応じて指導教員とは異なる分野の専門家や企業家からの指導を受けられるようアドバイスします。

※バックキャスティング学修：未来の社会で活躍する理想の自分を思い描いたとき、学び足りないと感じる分野が出てくる場合もあります。
そんな時、本学域では学知フェーズへ進んだ後でも、立ち戻って専門基礎科目を学ぶことができます。

他にも相談・支援・指導を受けられるチャンネルを多数準備し、他学域教員や、
- 学生支援課就職支援室：キャリアコンサルタントやキャリア・産業カウンセラー、産業界や学外経験者が、
- 保健管理センター　　：フィジカルやメンタルの相談に医師・公認心理師・保健師・看護師が、
- その他に、なんでも相談室（主に1年次）、障がい学生支援室のメンバーや融合系事務部の事務職員が、貴方を待っています。

外国人留学生の日本就職促進

日本での就職を目指す外国人留学生には、入学時からビジネス活用や日本語能力獲得を重視しながら融合学域の教育課程を学修する特別指導を行い、学費減免や給付型奨学制度等の手厚い学生生活支援を計画しています。

進学・就職状況（令和２年度４年制学士課程卒業者）

融合学域は、令和３年度に全く新しく設置した学域・学類で、前身の組織を有していないため、
本学の既存３学域15学類の実績を掲載します。6年制学士課程卒業者（医学類111名・薬学類35名）計146名は含みません。

区　分		人間社会学域	理工学域	医薬保健学域	合　計
卒業者（4年制）		741	642	239	1,622
大学院進学者（別科等を含む）		4.7%･35	67.1%･431	32.6%･78	33.5%･544
就職者 就職率 98.5%（決定/希望）	産業界	360	146	63	569
	公務・教員・病院	270	36	88	394
	起業・自営等	11	1	2	14
	就職者計	86.5%･641	289.5%･183	64.0%･153	60.2%･977
その他（試験準備・帰国者・研究生等を含む）		65	28	8	6.2%･101

♦融合学域では、初年度入学者の卒業時期に合わせて、大学院を設置する構想もあります。

観光デザイン学類（仮称）は設置申請中であり、関係部分は今後変更もあり得ます。

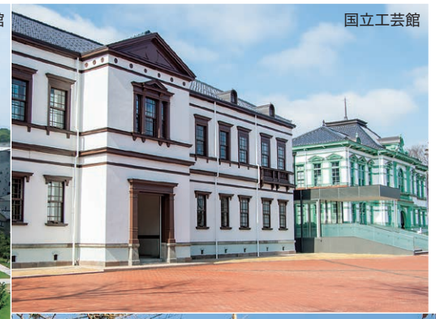
金沢ガイド

KANAZAWA

金沢市

全国でも指折りの学術と観光資源を擁する文化都市・金沢は、
現在も若者が増加し続けている住みやすく食べ物が美味しい街です。
金沢の地で、そして最先端の知見と実績を展開している金沢大学で
「自分を変えて、未来も変えて」みませんか？
新しい知識との出会いが、挑戦できるチャンスが、地方創生の中核が、
ここにあります。

金沢21世紀美術館


国立工芸館

兼六園

金沢駅　鼓門

甘エビ

ひがし茶屋街

香箱ガニ

金沢おでん

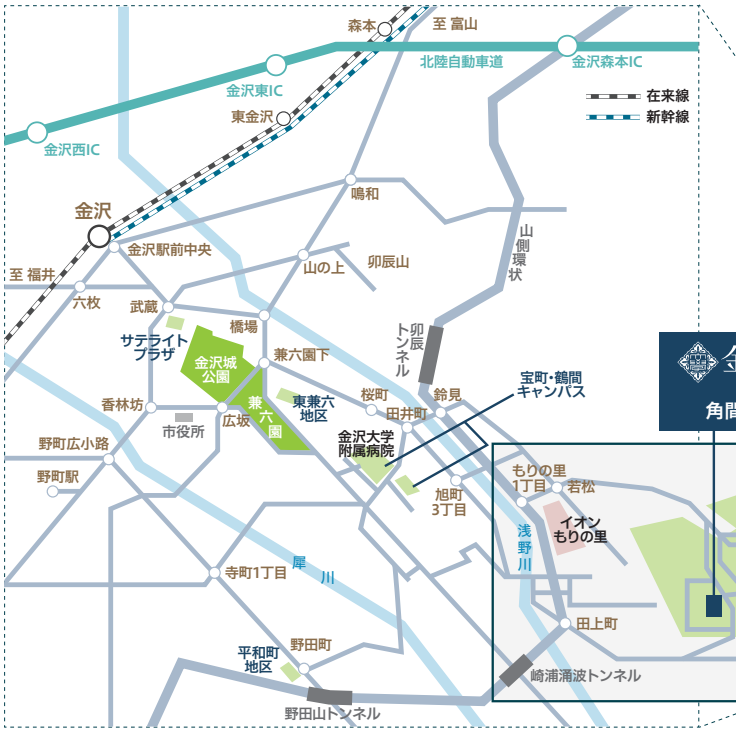
金沢カレー

［写真提供］
金沢市

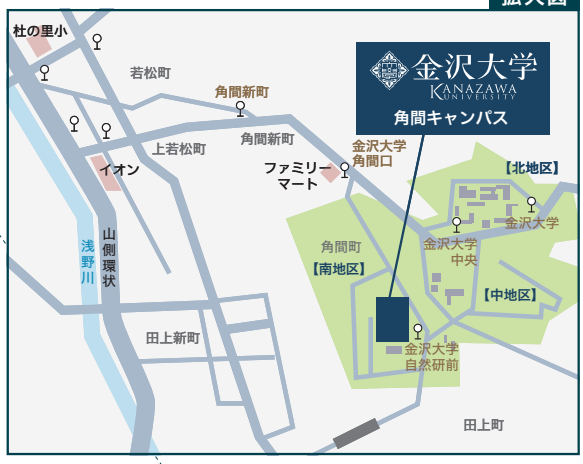
ACCESS

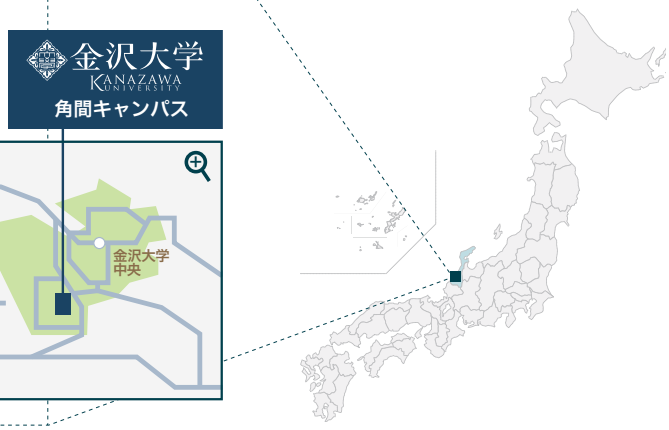
■金沢駅(兼六園口／東口)から金沢大学 角間キャンパスまでのアクセス

［北陸鉄道バス利用の場合］北陸鉄道株式会社 路線バス
角間キャンパス(バス停:金沢大学自然研前)まで
[93]［94］[97]金沢大学行き(兼六園下経由)　JR金沢駅から約35分



拡大図





■多方面から金沢までのアクセス

※実際のダイヤ等は、各交通機関のWebサイトで確認してください。

東京方面から	飛行機	［羽　田］－［小　松］	1日10便	1時間　※小松空港－金沢駅高速バス40分
	JR	［東　京］－［金　沢］	《北陸新幹線かがやき》	2時間28分
	JR	［長　野］－［金　沢］	《北陸新幹線かがやき》	1時間6分
	高速バス	［新宿駅］－［金　沢］	1日4～8便	7時間25～55分
	高速バス	［東京駅］－［金　沢］	1日1便	8時間30分
大阪／京都方面から	JR	［京　都］－［金　沢］	《特急サンダーバード》	2時間13分
	JR	［大　阪］－［金　沢］	《特急サンダーバード》	2時間30分
	高速バス	［京　都］－［金　沢］	1日6便	4時間
	高速バス	［大　阪］－［金　沢］	1日6便	4時間50分
名古屋方面から	JR	［名古屋］－［金　沢］	《特急しらさぎ》	3時間　※新幹線乗換 2時間30分
	高速バス	［名古屋］－［金　沢］	1日12便	4時間
その他の方面から	飛行機	［札 幌、福 岡、那 覇］－［小　松］		

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY
融合系事務部学生課
〒920-1192　石川県金沢市角間町
E-mail: new-gakuiki@adm.kanazawa-u.ac.jp
Tel：076-264-5910　Fax. 076-264-5899

金沢大学入試情報アプリ

今すぐ
＼ ダウンロード！ ／

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

入試情報

GREEN PRINTING JFPI
P-B10234

R3 Ver.2
2021.8